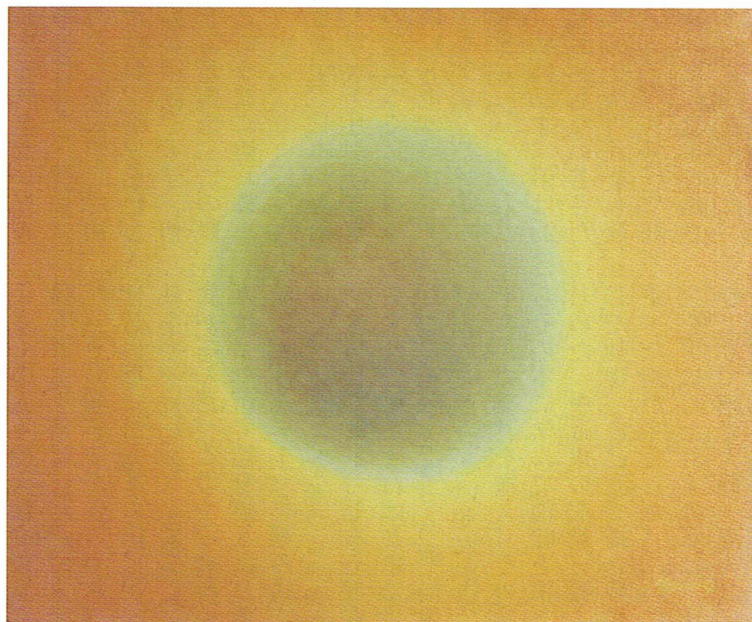


星のかけら、太陽の孫

奥山民枝 (駒17)



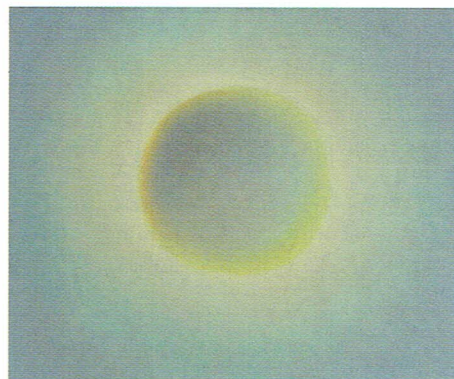
「星のかけら」727×909 (mm)



東京藝術大学美術学部を卒業後、スペインの王立美術大学に留学するも入学10日目に自主退学。欧州の名画を観て巡り、ユーラシア大陸横断旅行を経て油絵を描くに至った経緯、その後も世界を旅しながら、ライフワークとして描き続ける「太陽の絵」についての思いを綴っていただきました。

55年遡って!! 駒場高校の頃を思い出す。木々の葉や草むらが逆光でキラキラと輝き、校庭を青い犬が走り抜けて行く。悪戯好きの連中が野良犬を青く染めたのだ。私は家犬を亡くしたばかりで、ひたすら犬に同情したが、この連中に誘われ、出来たばかりの代々木の国立競技場に夜の夜中に集合し、持参した白いシーツを体にまとってヘンテコダンスに興じたこともある。とくに仲良しだった三人はもう居ない。鬼籍に入った。悪戯仲間が失ったが、私は70を超えた歳になっても、駒場時代の男女の親友二人に助けられて暮らしている。海外での個展に絡む英文の処理。大きな手術の付き添い人。二人共、昔から私の料理の先生でもあった。高校時代の友人は宝物である。三年生になると進路を決めねばならない。建築科志望の私は人を介して東大と藝大の教授に話を訊きに行った。結果は散々だった。まず女はとらないよ。開口一番冷たく宣言された。ずば抜けた成績の場合は一考するがね。女は卒業すると赤ん坊など抱いてきて仕事をやめる。国費を使って4年間育てる甲斐がない。それに現場のモサ達が若い女を現場監督として認めると思う? とところで君は君より無能な男の下で10年線を引く覚悟はありますか? 東大、藝大、どちらの教授の謂いだったか判別がつかない。よく似た意見と注告を賜った。この四角い箱型ばかりの建物の世界に、生きものの風の有機的な建築物をと夢みていた私は意気消沈。大きな挫折感だった。

私大も浪人も許されない環境で、ではどうするか。当時オリビックを機に勃興期にあったデザイン界に横すべりする事に困った事になる。もっと確実な描写力をつけないと、倍率が上がってきた実技重視の藝大のデザイン科に受かりそうにない。美術部の部長だったので、早朝から部室を自由に使えたが、入試に備える実技を磨くには余りに時間が足りないのだった。それで、一時間目の授業のうち欠席できそうな課題を探した。目にとまったのが火曜日一時間目の古文。恐る恐る職員室の扉を開け、古文の先生の前に。出席はしませんが、試験は必ず受けて良い成績を取ります。突然の



「太陽の力」455×530 (mm)

無礼な申し出に先生はしばし黙考。あるいは絶句。やがて「わかりました」の一言。ありがとうございます。かくして無事藝大に入学はしたが、安易な宗旨替えが私を苦しめる事になった。成績は良かったのだがデザインの仕事に興味も情熱も湧かない。加えて、デザインコースを卒業すると大手企業に就職する学生が多いのだが、求人への広報を見て愕然とする。男女の賃金格差がひどいのだ。賃金格差以外にも企業内での女性差別の話も聞こえてくる。無能な男の下で10年という言葉を思い出し、私は学長の推薦をとり付けてスペインの王立美術大学に留学した。留学は親を説得する為の口実で、女性を一人前に扱ってくれない日本を出たいという思いが強かった。スペインの美大は、私が留学した前年に憧れの校舎は博物館となり、新校舎はマドリッド郊外

駒場松桜会会報

第102号

2018年4月1日発行

一般財団法人
駒場松桜会

都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

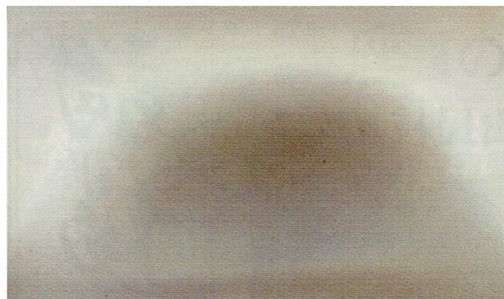
TEL/FAX

03-3466-7579
(毎月曜日の業務日
以外は留守番電話)

携帯電話からも住所変更ができます。



住所変更専用
QRコード



「山遊」1970×3333 (mm)



「青い光流」727×909 (mm)

の大学村と称する味気ないビル群の一角に移っていた。理由は他にもあったのだが入学して10日目に学長を訪ね、退学を申し出る。欧州の美術館、大学、僧院などに収まる名画を、この眼で観て巡るという旅に切り替えた。

2年を過ぎた頃、日本から弟を呼び、二人で六ヶ月かけて南回り帰国の途につく。スペインから陸伝いにトルコ、レバノン、イラク、イラン、アフガニスタン、パキスタン、インド、ネパール……。私は25才、弟は23才。案内書もお金もない若さだけが頼りの無謀な旅。言葉も数字も違う国々の小さな村や町で、泊めて頂いたり食事を供された。カルカッタ滞在中に印パ戦争が勃発。東パキスタン(現バングラデシュ)からの難民の群れに怯えて、英国航空のビルに匿ってもらった。いずれにせよ多くの人々の人情や善意に助けられ旅を続け、帰国できたのだ。その46年前からこつち、お世話になった人々の国に次々と戦争やそれに伴う悲劇が起き、胸が痛んだ。このやるせない痛みは、やがて絵を描きはじめる私に大きなテーマを刻み込んでいく。

職についた時には旅を封印したが、尾道に暮らした事自体が旅をしているようなものだった。私はライフワークとして太陽の絵を描き続けている。私達の血液のほんの一滴のなかの微量元素の構成は、太陽系全体を構成している元素のそれとほぼ相似形である。ヒトが太陽系のかげらである具体的な証拠だ。その事を深く自覚することで、宗教や文化、人種や貧富の壁を越えた人類共通の理念、同朋意識が生まれるのではないかと、儚いけれど希望を託して太陽の絵を描いている。太陽が息を話しかけるように描いている。我々がヒトである前に星のかけらである事、その意味の深さを共有したいというのが、私の絵のテーマであります。

プロフィール

- 1969年 東京藝術大学美術学部卒業・渡西
1992年 第35回安井賞受賞
2005年 尾道大学・大学院教授就任
2010年 第31回広島文化賞受賞
2012年 尾道大学退任・同大学名誉教授
- 画集 「奥山民枝・旅化生」美術出版社
「奥山民枝・岬／進」美術出版社
鉛筆画集 「手の中のいのち」朝日新聞連載 奥山事務所
掌編小説 「山水戀図」岩波書店
画家集 「美に生きる22人の画家たち」NHK出版
TV 「土曜美の朝・奥山民枝」NHKアーカイブス

中江 千恵元理事長(駒4)

を偲んで

評議員 中林 京子(駒5)



年が明けてほどなく中江千恵様ご逝去のお知らせ。何度か聞き直してしまいました。

昨年の桜の頃に入院されていたと伺っておりましたが、このような早いお別れになりますとは。

中江様は昭和21年、校舎が焼けてしまっていた都立第三高女の最後の入学生となり、教育制度改革により新入生を迎えない3年間を含め6年在籍して、都立駒場高校4回生として卒業されました。

長く松桜会役員として母校の伝統を大切に、仰光寮をいかにして残すか、小貫先生の愛したコチロンをどのように伝えていくか、色々とお心をくだかれました。

理事長として、平成14年に母校創立百周年をお祝いし、17年には松桜会百周年を迎え、数々の記念祝賀行事を取りまとめられました。

学校へブロンズ彫刻「鳥の歌」贈呈・祝賀パーティー・お茶会・美術展・音楽会などなど。

大変にお疲れさまでした。心からお礼を申し上げて、お別れとさせていただきます。

誠にありがとうございました。

駒場松桜会

地方支部から

●名古屋支部

「学生歌を歌いました」

6月28日(水)の支部会は、第三高女から駒場21回までの6人で行いました。少人数ながら幅広い話題で盛り上がり、特に初参加の21回生は第三の皆さんの話題の豊かさに興味津々の様子でした。



(支部会参加者と付き添いの家族)

今回は特に報告したいことがあります。駒場高校の学生歌を紹介したことです。5月末の16回生の同期会の時に菱刈隆永先生のご提案で歌ったのですが、楽譜と歌詞、CD等、16回生提供のものを持参して、皆で歌いました。公募した生徒の作詞・作曲で、昭和29年1月31日誕生(駒場高校の創立80周年誌「中寿」の略年表より)ということですので先輩方が知らないのは当然ですが、16回生でも知らない人がかなり多かったのです。初めてでもすぐに歌えて親しめる学生歌、支部会ではとても好評でした。

山本和子(駒16)

速報! ご出席予定の先生方

(幹事学年の担任・関わられた先生方)

櫛木 茂義先生(国語)
 岡本 賢一先生(化学)
 木下 庄市先生(国語)
 小林 祥男先生(理科)
 佐藤 光一先生(保体)
 杉村 正孝先生(保体)
 田辺 仁士先生(数学)
 長谷川操子先生(日本史)
 山本 茂之先生(数学)
 吉田 弘安先生(地学)

(50音順)

(現在も順次お伺い中です)

第12回「同窓の集い」予告**みんなで集まろう「同窓の集い」第12回!****幹事学年は 駒30・40・50回生**

今年も昨年と同じ会場、同じ時間帯で開催いたします。

第三・駒場の同窓生が一堂に集まれる貴重な機会です。

幹事学年以外の方々も、大勢のご参加をお待ちしております!

日 時: 2018年6月17日(日)**会 場:** 渋谷東武ホテル**受 付:** 12時30分~**同窓の集い:** 13時~15時30分**会 費:** 6,000円(第三・未成年 3,000円)

先生方は2,000円

新入会員(駒70)は無料です

当日受付でもお支払いいただけますが、混雑が予想されますので、
会報に同封の振込用紙にてお振込いただけますと助かります。

昨年度「同窓の集い」の様子

**駒30 駒30同期会10周年!!**

上中優・櫻井淳子・花田慎一郎・原正子

思えば前回(第2回)の「同窓の集い」が切っ掛けで始まった駒30同期会。

同期の皆さんは御存知の通り毎年2回(1月と6月)の同期会開催を重ねて今年の1月に第20回目を開催!

ひとえに同期の皆さんの結束の賜物と思います。

最初の86名から徐々に輪が広がり、今では海外在住者も含め200名
以上に連絡が取れて、毎回大勢の参加者で大いに盛り上がっています!

さあ!更なる同窓会と同期会の発展を目指して(等と硬い事は言いませんので)、毎回勤続の方も、暫く不参加だったので足が遠のいていた方も、同期会に興味の無かった方も、案内すら貰った事が無い方も、気楽に皆さんで集まって再会を大いに楽しみましょう!!

(3H 上中 優)

**駒40 駒40のみなさま、集まりましょう!**

上田悦史・藤口恭子・脇山真弓

駒40も卒業して30年になりました。本当に早いですね。

最近母校を訪ねても、校舎も建て替えられましたし、当時の面影を確認できるところは少なくなっていました。ですが、私たちが過ごした駒場時代の出来事は、当時のことを共有できる同期、先輩、後輩の方々との再会できっとあざやかに思い出されるのではないのでしょうか。

数年後には50代の私たちは、仕事でも家庭でも頼りにされて、日々慌ただしく過ごしていますよね。しばし忙しい日常を離れて、なかなか会うことのできない先生方と仲間に出て、近況を語り合ったり、駒場時代の思い出話で大いに盛り上がりませんか?

ご多忙中とは思いますが、皆さまお誘い合わせの上、ぜひ「同窓の集い」にお集まり下さい。(上田 悦史)

**駒50 駒50 全員集合!**

中田晶・西山由佳(旧姓 森川)・佐藤剛一・佐藤孝子

駒50のみなさん、お元気ですか?早いもので、駒場高校を卒業して、20年経つそうです。サッカー部が全国大会出場を決めた試合、熱く応援したのが懐かしいですね。

さてこの度、「同窓の集い」の学年幹事を務めさせていただくことになりました、西山と中田です。みなさんは今、仕事や家庭、子育てなど、人生で一番忙しいときかもしれません。自分の時間がない...と思っているのはきっとみんな一緒です。でもそんな今だからこそ、ちょっと立ち止まって、振り返ってみませんか?おっさんおばさんになった友達と、熱かった高校生気分に戻って、おおいに語り合い、笑い合いましょう!

6月17日「同窓の集い」、目標は駒50全員集合です!お待ちしております!



鮫島有美子(駒22)コンサートのお知らせ

日時: 2018年5月20日(日)

13時半開場 14時開演

場所: 旧芸術高校ホール
(母校内)

入場料: 1人1,000円

申込: 往復はがきに以下を明記
の上、松桜会まで

- ・ 鮫島有美子コンサート
- ・ 氏名(卒業回)
- ・ 住所と電話番号

締切: 4月27日(金)

(当日消印有効、先着250名様)

松桜会HPもご覧ください

内藤 濯 和歌
皇后陛下 御作曲
「星の王子の・・・」を歌う
(文藝春秋近刊)東京藝術大学大学院修了
ソプラノ歌手**平昌パラリンピック 日本代表! 堀江 航氏(駒50)**

昨年10月に平昌冬季パラリンピック最終予選が行われ、堀江航選手(駒50)がパラアイスホッケーの日本代表選手として出場し、見事2018年平昌パラリンピックの出場を決めました。その活躍に伴い、2月3日(土)に駒場高校の生徒ホールにて壮行会が開かれました。壮行会には、元同好会会長平島先生・会長林先生をはじめ、サッカー部OB会会長の徳永先生、担任の杉村先生など多くの方がご出席され、激励のお言葉をいただきました。堀江選手の本大会での活躍を一同期待したいと思います。

横溝 大輔(駒50)

**♪ 2017 年度 駒場松桜会コンサート報告 ♪**

ハープ、ヴァイオリン、箏という異色のコラボレーションの今回の松桜会コンサート。お手製だというピンクの手編みのドレスで登場したハープ奏者の三宅美子さんは、私たちKMCの後輩にとってはチャームなミケ先輩です。

ヘンデルの「ハープ協奏曲」で始まり「引き潮」「会津磐梯山」と続くハープソロ。この後、同じ芸大出身のヴァイオリン水野佐知香氏とお箏吉原佐知子氏が加わり、「浜辺の歌」と「昴」の演奏...とここまでは通常の平均律での調律で、休憩をはさんだ後半は真骨頂の純正律での演奏開始です。

ちょっとは違いを察知しようと耳をそばだてて聴いた「時には母のない子のように」は、ん? 残響が少ない? ハープとお箏が近づいた? と素人耳に何となく感じる以前に、選曲がこの三つの楽器のコラボにぴったりで、和楽器でありながらさりげなく違和感なく寄り添うお箏に感心しながら、懐かしくしみり聴きました。曲の合間のチューニングは大変そうでしたが、トークの上手な相手水野氏がクイズで繋いだりして観客を飽きさせませんでした。ちなみに、「ハープの弦は何本?」というクイズは、「12月某日港区区界隈」というヒントに、「四十七士!」と即答したのは私です!

ヴァイオリンとハープの「白鳥」も素敵でしたが、箏も加わった「北の宿から」はゾクゾクするほど情感たっぷりなヴァイオリンがドラマチックで感動的! 「いつでも夢を」は会場に吉永小百合と同級だった方がいらしたり、「ブルーライトヨコハマ」「秋桜」では、三宅さんが紅白歌合戦でいしだあゆみの後ろで弾いていたとか、山口百恵はオーラがあったとか、私のようなミーハー観客にはピッタリなエピソードをちりばめつつ楽しく進行。圧巻はヴァイオリンとハープでの「タイスの瞑想曲」で、ヴァイオリンが客席を巡って下さるというサービス付きで素敵な音色に酔いしれました。最後は「瑠生子の宿」でしみりほろりとさせられ、アンコールは「川の流れるように」と「男はつらいよ」という間口の広さ!

サービス精神旺盛で昭和歌謡も並べて下さったと思ったら、「近頃若い人に人気の昭和歌謡って安奈奈美恵なんだって!」と、小ネタで笑いを取りつつ終始会場をひきつけてやまないステージでした。駒場愛満載での楽しいコンサートは確かに癒しと平和で幸せな気分を会場にいた145名の私たち全員にもたらししました。これってひょっとして純正律効果?! 西 真知子(駒24)(旧姓 杉山)

**コチロン特別練習の報告**

2017年10月17日(火) 駒場高校生徒ホールにて

第三34から駒39までの参加者34名は昼食会、コチロン練習と世代を超えて伝統のダンスを通じて貴重な楽しい時を過ごしました。

また、午後からは旧芸術高校ホールにてDVD作成のため、カメラの前で緊張しながらの練習もしました。初めての同窓会も毎月の練習にぜひご参加ください。

●コチロンを踊る会 練習日

日時 4、5、6、7月

毎月第3月曜日、月1回土曜日

11時~13時

会場 駒場高校生徒ホール(変更の場合は掲示します)



都駒祭にて

都駒祭参加報告

2017年9月9日・10日の母校学園祭に松桜会も例年通り参加しました。

催しとして203教室にて「お休み処」の設置と同窓会活動の報告を、一般公開の仰光寮にて香淳皇后の掛軸「桃の春」の展示と講座作品(セラミックボードの浮彫り)の展示をしました。また、

五大陸前ではコチロンを踊る会メンバーの方々(第三34~駒24)が多くの方が見守る中、コチロンダンスを軽やかに披露しました。今年も都駒祭は同時期に開催されます。是非母校を訪れてください。



医療のいまどき情報

臨床美術士と骨髄バンクコーディネーターの活動
—ふたつのボランティアの体験—

辻 紀子(旧姓 安岡)(駒24)



臨床美術(クリニカルアート)は、認知症を改善するために開発されたアートプログラムです。作品を楽しみながら作ることで、脳を活性化させます。独自のプログラムに沿って、五感(観

て、触って、匂い、味わい、聴く)で、全身の感覚を刺激しながら制作していきます。彫刻家であった故・金子健二氏が中心に脳外科医とファミリーケアアドバイザーの協力で高齢者の脳機能訓練などに有効なプログラムを開発、その後2002年日本臨床美術協会が設立されました。



臨床美術を受けた方々の作品
カボチャの立体と量感画

そして今、私は臨床美術士として、デイケア・知的障害者施設、私の住む地域の方々へアートの楽しさを伝えていきます。アートが身近で楽しいものであること、私にも出来たという喜びを持ち潤いのある日々を過ごして頂きたいと活動しています。

1991年末、日本骨髄バンクが設立され、ドナー登録が開始されました。白血病など血液の病気に苦しんでいる方々のために私も登録しました。その後コーディネーター募集を知り、この方法での協力もあると応募し、一年近くの研修期間を経て活動が始まりました。

仕事は、ドナー候補者と面談し提供意思の確認と医師による適格性検査のための日程調整。ドナー候補者が最終的に選定されると、家族を含めての意思の最終確認。採取施設での健康診断に同行、採取日は待機し、術後ドナーの不安要素が無くなるとコーディネーターは終了です。14年間務める間、担当した多くの候補者、うち提供された何十人ものドナーさんと、提

供することの想いを共有しました。難しい事もありましたが、熱意を持ち続け活動して、やり甲斐のあるボランティア活動でした。辞退して5年が経ちます。

バンクの現在の課題は、ドナー登録者を増やすことです。骨髄バンクを介しての提供は年間1200〜1300例、増加傾向にあります。これは採取施設が増えたことが要因のひとつで、患者さんにとって移植のチャンスが増えとても喜ばしいことです。ドナー登録者(18歳〜54歳)は47万9千人。うち40・50歳代が半数以上の25万人です。この世代の方々は、患者さんと白血球の型が合っても自身の仕事への責任や、加齢のために骨髄バンクの基準値から外れることなどで、提供に至らない事が多い世代層といえます。

比べて20・30歳代の登録者は半数以下です。実はその若い年齢層から提供された骨髄細胞の移植は、とても高い成功率となっているのです。

これからは、いかに若い方々に協力いただくかなのです。「多くの方々がドナー登録し、さらには実際のドナーになっていただければ幸いです(日本骨髄バンク)」

プロフィール

女子美術大学卒業後三和銀行入行、退職

1998年〜2012年

日本骨髄バンク コーディネーター

2014年〜

日本臨床美術協会 臨床美術士5級

新入会員から

駒70-2ホーム 町田 美緒



駒場高校での3年間はあっという間でした。勉強や部活、行事など全

てのことに一生懸命取り組み、多忙でしたが、とても充実した日々だったと感じています。学校全体が文武両道を実現する良い雰囲気があるため、私自身も頑張ることが出来ました。最後までやり遂げられたということはこれからの自信につながると思っています。

また、私は女子バレーボール部に所属していました。毎日の練習で技能を高めたり、体力をつけたりするだけではなく、礼儀や上下関係など多くのことを学びました。部活動を通して、広い視野を持つて行動することが出来るようになったと感じています。

私が駒場高校で得たことは、大学でも、その後社会に出てからも役に立つと確信しています。それらを生かし、これからも成長し続けていきたいと思っています。

駒70-6ホーム 羽田 拓矢



「おはようございます。」
「こんにちは。」
「お疲れさまです。」このよう

な言葉が駒場高校では至る場所で飛び交っています。

私はサッカー部に所属していましたが、入部して間もなく、技術よりも先に、挨拶の仕方と目上の人に対する礼儀作法を上級生から厳しく指導してもらったことを、今懐かし

母校生徒の活躍 (1月現在)

- 女子バレーボール部
 - ・全国高校総体東京都選ベスト8
 - 陸上競技部
 - ・関東高校陸上競技大会
 - 女子七種競技第3位(全国大会出場)
 - ・全国高校総体陸上競技大会
 - 女子七種競技第18位
 - ・東京高校新人陸上競技大会
 - 三段跳第3位・第7位(関東大会出場)
 - 走幅跳第8位(関東大会出場)
 - 水泳部
 - ・東京都高校水泳競技大会
 - 女子400mフリースタイル第9位
 - 女子400mメドレーリレー第8位
 - 女子800mフリースタイル第5位
 - 女子100m平泳ぎ第6位
 - 女子200m平泳ぎ第8位
 - 女子100mバタフライ第7位・第8位
 - (以上関東大会出場)
 - ・関東高校水泳競技大会
 - 女子400mメドレーリレー
 - (全国大会出場)
 - ・全国JOCジュニアオリンピックカップ
 - 東京都予選 女子100m自由形・男子100m平泳ぎ・女子100mバタフライ
 - (以上全国大会出場)
 - サッカー部
 - ・全国高校サッカー選手権東京都予選ベスト8
 - 剣道部
 - ・東京都国公立高校剣道大会
 - 女子団体の部 優勝
 - 女子硬式テニス部
 - ・東京都立高校テニス大会
 - 女子ダブルス ベスト8
 - 百人一首部
 - ・全国高校小倉百人一首かるた大会
 - 個人D級 優勝・準優勝
 - 団体ベスト8
 - 演劇部
 - ・東京都高校演劇連盟中央大会
 - 優秀賞(高校演劇サミット出場)
 - 新聞局
 - ・全国高校新聞年間紙面審査賞 総合文化祭 優良賞(全国第13位)
- これからも母校生徒の応援よろしくお願いたします!

◆同期会開催のご案内◆

2018 駒5の会

日時 5月18日(金)

12時~14時30分

受付開始 11時30分より

会場 新日鉄代々木倶楽部

小田急線参宮橋下車

徒歩3分

会費 8,000円

申し込み締切4月28日

連絡先 原田慶子

駒14同期有志の会紫陽花会

日時 6月30日(土) 12時~

会場 青山・ラスカス

渋谷区神宮前5-47-6

会費 5,000円

問い合わせ先 辻井典子

TEL&FAX

03-3711-11047

駒16同期会

今年は平成最後の同期会です。

楽しい会になるよう多数の皆様

のご参加をお待ちしております。

日時 5月16日(水)

13時半~16時

会場 渋谷エクセルホテル東急

連絡 komahal6@gmail.com

幹事代表 浅野純子(帆坂)

2017年8月以降2018年1月までに、16名と1団体の皆様から合計14万5千円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございます。

寄付者芳名は次号会報に掲載させていただきます。

特別企画講座の報告

昨年10月13日~15日の松桜会特別講座「出雲国風土記」の旅に32名が参加し、充実した楽しい時間を共有しました。お茶の水女子大学名誉教授の萩原千鶴さん(駒22)の緻密な準備とご案内で、古代出雲歴史博物館、出雲大社、猪洞洞窟、佐香神社、八雲立つ風土記の丘、神魂神社、山代二子塚古墳、糸原記念館、鬼の舌震、奥出雲たたらと刀剣館、西谷墳墓群・出雲弥生の森博物館、熊野大社を巡りました。出雲大社では権宮司千家和比古氏にご案内いただき、熊野大社では鑽火祭に参列の機会を得ました。今回、萩原さんが「校歌と出雲大社」を、元社会科教師の菱刈隆永氏が「出雲国風土記の旅に参加して」を寄稿してくださいました。



萩原千鶴(駒22)

校歌と出雲大社

駒場高校の校歌は、もとは千家尊福氏が府立第三高女のために作詞したもの、一部改作して男女共学の新制高等学校にふさわしい装いに改めたものである。千家尊福氏(一八四五~一九一八)は出雲大社の宮司(国造)家に生まれ、第八十代出雲国造を務めた後に政界に転じ、東京府知事・司法大臣などを歴任した。その府知事時代に開校したのが、府立第三高女である。

校歌には「真金」「白玉」が再三登場するが、「白玉」は、古代、出雲国造が和朝廷に献上した「出雲国造神賀詞」にゆかりの物で、出雲国造は玉などの神宝を献上して天皇の長寿を祝福した。「真金」(金とも鉄とも解釈できる)は、原詞には「真金と鍛へて家をも守り」(現行校歌では「かたみに鍛えてわざをまはげみ」とある)で、鉄を意味することが明瞭である。日本の鉄は、古代から近代国家に至るまで、出雲国がそのほとんどを産出してきた。校歌が「白玉・桜・松」をうたうのも、「神賀詞」が「白玉・赤玉・青玉」を

計報

伊藤 アヤ先生(家庭)

(2017年6月1日)

謹んでご冥福をお祈りいたします

前号の計報の欄、坂本育雄先生のお名前間違いをお詫び申し上げます。

思い出します。最初は一種の義務感からしていた挨拶もいつの間にか習慣となり、そこから始まる会話によって、先生方や上級生、友達や先輩と良い関係を築くことができました。

私はこの3年間で、社会で様々な人とコミュニケーションを取り、良好な関係を築くための基本となるようなことをたくさん学ぶことができたと思います。駒場高校で培った全ての物事に通ずる基礎の部分で、私達がこれから進む新たなステージでも存分に活かしていきたいと思っています。



駒70 保体科 大沼 紗弓

駒場高校で過ごした3年間は人生の中で最も充実している、あつという間に過ぎていきました。

私は女子バレーボール部に所属し部活に励んでいました。部長を務めていましたが、最初は思うようにチームメイトをまとめることができませんでした。しかし、そんな時に勇気付けてくれて、支えてくれたのは頑張っている仲間が存在でした。同じ時間を過ごし、辛いことも一緒に乗り越えたからこそ、良い関係を築けたのではないかと思います。チームの先頭に立つことができたこの経験は今後の人生に必ず役に立つと思います。自発的に動き、常に周りを見て過ごしていきたいと思っています。

切磋琢磨して高め合った仲間や素晴らしい先生方に出会えたこと、良い環境で過ごせたことを誇りに思います。沢山の方々への感謝を胸に大學生生活も頑張りたいと思います。

松桜会講座のお知らせ(平成30年度上期)

4/20(金) 締切

対象者：駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法：往復はがきに、次の内容を記入してください。

①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名

⑤会員一卒業回 教職員一所属 PTA会員一お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋2-18-1 都立駒場高校内 (財)駒場松桜会事務局

A 講座

講師

寶金 敏明 (駒17)

弁護士。中央大学法学部卒。東京地裁裁判官、東京法務局長、最高検察庁検事、公証人、中央大学客員教授など歴任

身近な最新の法律問題

①身近な法律＝民法(債権法)の大改正

明治以来、120年ぶりに民法が大改正されました。時効・約款・賃貸借・保証など生活に身近な部分をピックアップして改正のポイントをお話します。

②相続法の改正

遺言・遺産分割など相続に関する法改正が予定されています。従前より使い勝手の良い仕組みになりますので、その利活用の仕方をお話します。

③第4次産業革命と人権

IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)が今、急速に世界を変えようとしています。それに伴う病理現象を人権の視点から探ります。

定員：30名

受講料：1,500円

会場：東館和室

10:30～12:00

6/2(土)・6/30(土)

7/21(土)

B 講座

企画

講座部会

JR山手線の駅から歩く路地めぐりⅣ

一代々木・新宿・新大久保駅一

徳川時代から近代まで軍事色の強い場所で、今は繁華街。懐かしい路地裏は残っているのでしょうか。

1. 代々木駅から：練兵場、米軍宿舎、オリンピック村と変遷した森を抜け、武蔵野台地の縁に古代人の生活を偲ぶ。
2. 新宿駅から：広大な浄水場の跡に建つビル群の足元には、徳川以前の水に因んだ古寺社が静謐に残っている。
3. 新大久保駅から：昔武家と兵士の町、昨今コリアンタウン、伝説を残す寺社を巡り、山手線内最高地点を目指す。

定員：30名

受講料：2,000円

(含 資料代、保険料)

5/26(土)・6/9(土)

7/7(土)

10:00 駅集合

12:00 解散予定

C 講座

企画

講座部会

国立劇場 文楽公演観賞

演目：本朝廿四孝

桔梗原の段

吉田幸助改め五代目吉田玉助襲名披露口上

景勝下駄の段

襲名披露狂言 勘助住家の段

義経千本桜 道行初音旅

日程：5/16(水) 11:00開演

定員：25名

観劇料：6,300円(正価7,000円)

会場：国立劇場小劇場(半蔵門)

参加者の声

「出雲国風土記の旅」に参加して
私は教育には、教えて育てる段階・育つことを教える段階・育った者に教わる段階の三段階があると考えています。

高等学校の教育は第二の段階にあると考え、日本史は「日本史学習のしおり」により、生徒による「問題点」の発表を中心とする授業を展開し、古代が終わると深大寺や国分寺跡に、中世が終わると鎌倉になどフィールドワークをして、歴史を体感してもらうようにと考えました。今までも、卒業生にいろいろ教わることもありましたが、この度のように卒業生の企画・案内による旅は初めてであり、しかも出雲大社など入れぬ所まで入って説明をきくなど、さらに出雲大社の社務所内で校歌を歌うなど、また萩原さんからいろいろ説明を聞き、私の教師としての第三段階の喜びここに極まることでした。それに皆さんに扶けられて階段や坂を登ったり下ったり、まことに有難く嬉しく、教師冥利に尽きる旅でした。

菱刈 隆永(元社会科教師)

「ロケットと宇宙と私」を受講して

「ロケットと宇宙と私」というタイトルを会報で見つけ心惹かれ、講座に参加させていただきました。宇宙という分野で活躍されている方から、直接お話を伺うことができて楽しいひとときでした。

一回目は、森田先生ご自身の半生を、先生のお好きな野球のお話などをお交えながら、二回目は、イブシロンロケットの開発に焦点をあて、日本の宇宙開発の今がわかるような、内容でした。

とても印象的だったのは、「自由な発想」と「チャレンジ精神」が大切だということ。それは宇宙という分野に限らず、どんな分野にも、それから人生にも当てはまることだなと思います。そして自分の力だけでなく、仲間や家族の力もかせないことを改めて実感することができました。

今は、ロケットの打ち上げを実際に見てみたいなど思っています。できれば内之浦まで、イブシロンロケットの打ち上げの時に、宇宙をより身近に感じられる貴重な講座でした。

戸田 千恵(旧姓 関根(駒53))

